

北海道シマフクロウの会

設立：H25.9
所在地：札幌市

団体の概要

「北海道シマフクロウの会」は、北海道の生物多様性の保全や、北海道に生息するシマフクロウの保護活動等を推進するために、生物多様性の保全およびシマフクロウの保護活動に携わっている団体・個人を支援することを目的として平成25年に設立されました。

ホームページや会報「北海道シマフクロウ通信」の発行を通じて、シマフクロウの保護に関する情報発信を行うとともに、シマフクロウに関する意見交換会や講演会の開催、次世代を担う子どもたちに向けた「学ぶ会」の開催、シマフクロウを題材とした絵本の発刊など、シマフクロウ保護に関する啓発活動などを実施しています。



団体の取組等

○シマフクロウについて「学ぶ会」の開催

次世代を担う子どもたちに、シマフクロウの保護や生物多様性保全の重要性について理解を深めてもらうため、平成28年10月に円山小学校において、「学ぶ会」が開催されました。

全校生徒を対象に、体に障害があるシマフクロウの「ちび」のお話や、5・6年生を対象に、生物多様性についてのお話があり、児童からは「シマフクロウが絶滅すると、どんな影響があるのか？」など積極的な質問がなされ、生物多様性保全の重要性について理解が深まりました。



○絵本「シマフクロウ ちびのぼうけん」の発刊

この絵本は、体に障害があるシマフクロウの「ちび」と、親代わりに世話をする少女ユキが、巡り合った北海道の大自然を舞台に描かれ、次の世代を担う子どもたちに向け、生物多様性保全の大切さに気づいてもらいたいというメッセージが込められています。

シマフクロウの会の会員が原案を、札幌市内に在学の大学生が絵を描きました。

書店での販売のほか、小学校や図書館にも寄贈され、生物多様性保全の啓蒙のため、広く活用されています。

